

静岡新聞 しずおか しんぶん

ワークシート

たらいの土俵で尻相撲熱戦 伊東・音無神社、天下の奇祭



激しく尻をぶつけ合う尻相撲大会の参加者
伊東市の音無神社

天下の奇祭「伊東温泉尻つみ祭り」が10日夜、伊東市の音無神社で開かれた。51回目となる尻相撲大会には約100人が参戦。大勢が見守る中、たらいの土俵の上で熱戦を繰り広げた。

尻相撲大会は小学生対象の子ども、中学生以上の大人、4人組の団体の3部門で、トーナメント方式で

対戦した。参加者は背中合わせで直径約90㍍のたらいの上に立ち、おはよしのリズムに合わせて踊った後、「どどんがどん」の合図で尻同士をぶつけた。女性が体格で勝る男性を突き飛ばすと大歓声が上がった。

団体戦にはそろいのコスチューム姿の職場仲間や市国際交流協会員

などが登場し、応援も熱気を帯びた。大会に先立って1640年ごろから続けとされる神事が行われた。尻つみ祭りは、暗闇の社殿で参列者が隣の人にお神酒を回す際に尻をつまんで合図したのが由来とされる。

(2025年11月12日付 東部版)

【上の記事を読んで次の問いに答えましょう】

- ①見出しの「尻相撲」は何と読みますか。()
- ②この尻相撲は、何を土俵にしていますか。()
- ③写真では、尻相撲のどんな場面を紹介していますか。()
- ④記事を読んでいない人に、この尻相撲の「面白いところ」や「楽しいところ」を教えてください。あなたが、どんなところを教えますか。30字以内で書きましょう(句読点や記号も字数に含みます)。

				5					10					15
				20					25					30

【学習のポイント】

※対象は小学校～中学校／生活、国語、社会、体育、総合

面白くて楽しい伝統行事を新聞から見つけ、その魅力を短い言葉で紹介してみよう。

たらいの土俵で尻相撲熱戦

伊東・音無神社、天下の奇祭



激しく尻をぶつけ合う尻相撲大会の参加者

伊東市の音無神社

天下の奇祭「伊東温泉尻つみ祭り」が10日夜、伊東市の音無神社で開かれた。51回目となる尻相撲大会には約100人が参戦。大勢が見守る中、たらいの土俵の上で熱戦を繰り広げた。

尻相撲大会は小学生対象の子ども、中学生以上の大人、4人一組の団体の3部門で、トーナメント方式で

対戦した。参加者は背中合わせで直径約90センチのたらいの上に立ち、おはやしのリズムに合わせて踊った後、「どどんがどん」の合図で尻同士をぶつけた。女性が体格で勝る男性を突き飛ばすと大歓声が上がった。

団体戦にはそろいのコスチューム姿の職場仲間や市国際交流協会員

などが登場し、応援も熱気を帯びた。大会に先立って1640年ごろから続けとされる神事が行われた。尻つみ祭りは、暗闇の社殿で参列者が隣の人にお神酒を回す際に尻をつまんで合図したのが由来とされる。

(2025年11月12日付 東部版)

【上の記事を読んで次の問いに答えましょう】

- ①見出しの「尻相撲」は何と読みますか。()
- ②この尻相撲は、何を土俵にしていますか。()
- ③写真では、尻相撲のどんな場面を紹介していますか。()
- ④記事を読んでいない人に、この尻相撲の「面白いところ」や「楽しいところ」を教えてください。あなたが、どんなところを教えますか。30字以内で書きましょう(句読点や記号も字数に含みます)。

				5					10				15
				20					25				30

【学習のポイント】

※対象は小学校～中学校／生活、国語、社会、体育、総合

面白くて楽しい伝統行事を新聞から見つけ、その魅力を短い言葉で紹介してみよう。

＜解答例＞

- ①しりずもう
- ②たらい
- ③(例)尻をぶつけ合って、(今にも)落ちそうになっている場面。
- ④(例)せまい土俵と「どどんがどん」の合図で尻をぶつけ合うところ。(29字)
- おはやしのリズムに合わせて踊った後、尻同士をぶつけるところ。(30字)

女性が体格で勝る男性を突き飛ばして勝ち、歓声が上がる場所。(30字)

団体戦でのそろいのコスチューム姿や熱を帯びた応援の様子。(28字) など

＜解説＞

- ①尻をぶつけ合う相撲のことだね。
- ②たらいは浅くて丸い容器。水や湯を入れて、手や足、物を洗うために古くから使われてきた

ものだよ。

- ③この一瞬を捉えることで読者を引き付ける写真になるんだよ。
- ④本文や写真など、記事のいろいろなところから分かるね。あなたが一番、気に入ったところを書いてみよう。

作問者は静岡新聞NIEコーディネーター・矢沢 和宏



もっとやってみよう！と思ったら、「静岡新聞NIEワークシート」を検索してね。